

「中期経営計画」(自己改革)の 取組み状況について

当JAでは、「中期経営計画」(H28～H30)「に基づいて、自己改革の取組みを進めています。

これまでの取組みの一部をご紹介します。

1 「儲ける農業」の実現

(1) 産地育成による農業生産の拡大

◎ブロッコリー

「ブロッコリー部会」を設立し、作付面積の拡大に取り組んでおり、移植機を新たに7台追加導入しました。(合計10台)

作付面積は平成27年度の13・3haから平成30年度上期末は20・0haに拡大しています。

◎菜の花

生産者の出荷調整作業を大幅に軽減できる「バラ詰出荷」を推進し、作付面積の拡大に取り組んでいます。平成30年度上期末には新規生産者が40戸増えています。

(2) ブランド戦略を通じた有利販売の実現

◎平成30年2月に、三野のはれひめが「新とくしま特選ブランド」に認定されました。JA共済地域農業活性化積立金を活用し、徳島高速バスにラッピング広告を行うことで、有利販売等に取り組んでいます。

(3) 安価で高品質な生産資材の供給

◎平成30年度には一部の生産資材について県下11JAで共同入札を行い「化成4・4・4(肥料)」を安価で落札しました。今後も、阿波みよし管内の産地・品目に適した生産資材について積極的に入札参加を行う予定です。

2 担い手サポートの充実

(1) 相談機能の強化

◎三加茂選果場をはじめ、各営農センターに営農指導担当者を現存5名を配置し、より一層の営農相談機能の強化に取り組んでいます。

(2) 支援プログラムの充実

◎子会社の「JAアグリみよし株」では、農作業受託を強化し、特に草刈作業受託面積は平成27年度の70haから平成30年度は195haに増加しました。

3 組合員の要望に応える JAサービスの提供

(1) 利用者満足度の高い店舗の構築

◎親しみやすく入りやすい店舗づくり、店舗前道路の清掃活動などに取り組んでいます。

◎各支店では、貯金窓口キャッシャーを導入し、窓口での貯金入出金の待ち時間の短縮に努めています。また、共済タブレット端末機による契約手続きを導入し、契約書類の削減による利用者の負担軽減に取り組んでいます。

◎ふれあい産直市では、JAカードによるクレ

ジット決済割引を開始し、利用者の皆様の利便性向上に取り組んでいます。

(2) 個別ニーズに対応する業務体制の強化

◎各種専門職員を配置し、出向く体制を強化しています。各種専門職員には、各業務の研修を行う等、個別ニーズに対応できる専門力・相談力の強化に取り組んでいます。

4 利用者目線からの新たな事業展開

(1) 利用者参加型の事業展開

◎産直市での「七夕祭り」や「大収穫祭」、女性部活動でのちやぐりんフェスタなど、地域の子ども向けの利用者参加型イベントを開催しました。

(2) その他

◎農業経営事業の子会社移行に向けて取り組みを進めています。平成30年9月末現在、これまでJA本体で借受けていた農地のうち約27%を子会社での借受に移行しました。

◎ホームページを開設し、組合員・利用者の皆様へ情報提供を行い、経営の透明性確保に努めています。

◎平成30年1月から(平成)31年12月にかけて、組合員・利用者へのアンケート調査を実施し、改めて皆様に結果をお知らせする予定です。

JA阿波みよし10年ビジョン「あるでないでJAが」のスローガンのもと、組合員や地域の皆様に必要とされるJAをめざして、引き続き、自己改革に取り組んでまいります。

JA阿波みよし 中期経営計画(自己改革)の取組について

JA阿波みよしでは、以下の内容に注力して自己改革を進めています。

1. 「儲ける農業の実現」

「農家所得の向上」、「農業生産の拡大」を最重点目標と位置づけ、実現に向けた具体的な取組みを実践します。既存の生産品目はもとより、特定品目を選定し生産拡大をめざします。

また、担い手農家への個別対応機能を強化し、多様なニーズに応えられるJAをめざします。

- (1)産地育成による農業生産の拡大
- (2)ブランド戦略を通じた有利販売の実現
- (3)安価で高品質な生産資材の供給

2. 担い手サポートの充実

農業生産基盤を維持・拡大するため、それぞれの担い手ニーズに応じたサポートを充実し、担い手を育成・確保します。また、県域で設置する「担い手サポートセンター」と連携し、担い手に出向く活動を展開します。

- (1)相談機能の強化
- (2)支援プログラムの充実
- (3)担い手担当者育成機能の醸成
- (4)新たな担い手の育成・確保

3. 組合員の要望に応えるJAサービスの提供

組合員・地域住民の要望に応えるJAサービスを提供していくため、利用者満足度向上の観点から、来店者に対する質の高いサービスの提供をめざした「利用者満足度の高い店舗の構築」と、個々のニーズに対する的確なアプローチをめざした「個別ニーズに応える業務体制の確立」を進めています。

- (1)利用者満足度の高い店舗の構築
- (2)個別ニーズに対応する業務体制の強化

4. 利用者目線からの新たな事業展開

准組合員や地域住民の皆様を「農業や地域経済の発展を共に支えるパートナー」「農業振興の応援団」と位置づけ、積極的な事業参加を呼び掛けるとともに、参加可能な各種イベントを開催し、JAに対する理解の醸成を図ります。

- (1)利用者参加型の事業展開

お問い合わせ

三好支店 TEL 79-3122
井川支店 TEL 78-2021
山城支店 TEL 86-1211

三野支店 TEL 77-2333
池田支店 TEL 72-0139

三加茂支店 TEL 82-2326
白地支店 TEL 74-0454